

385
/
3止

浪古子

解篇

三篇

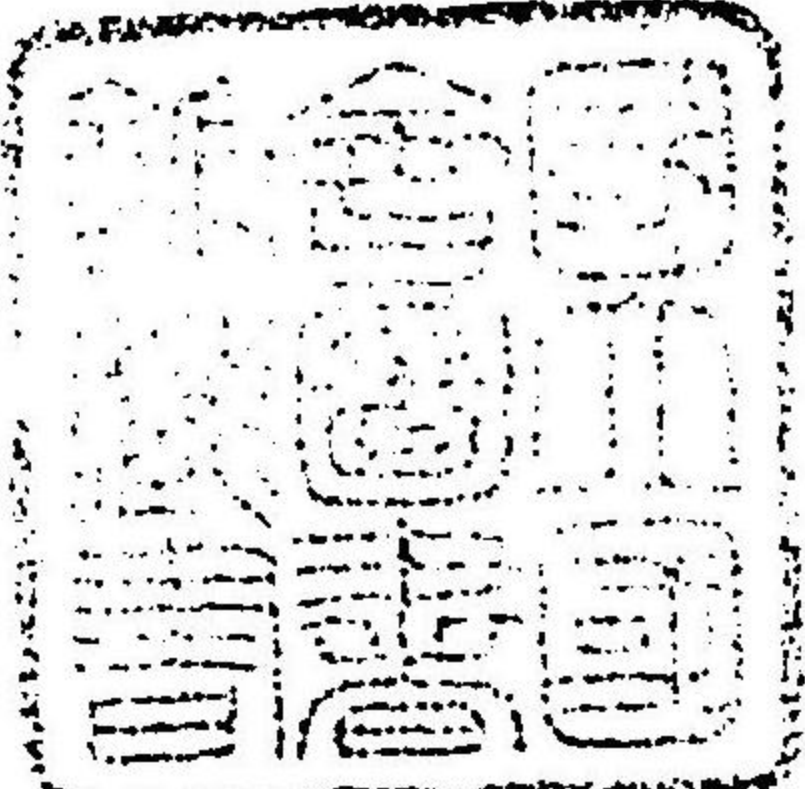
温古年中

行事

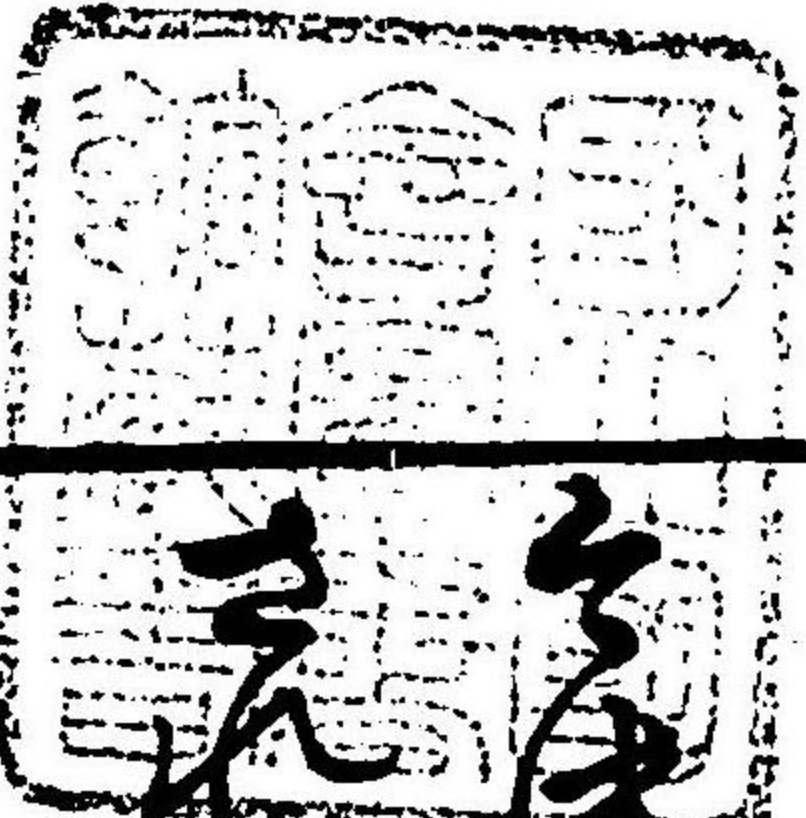
温古年中行事



風俗画の貴ぶべきを古昔のさまを今の
世とあし今の形態を後の世と傳ふる事
ありとの温古年中行事を辨齋画伯の
筆に心をおこめて筆したる畫本もぞある
今より四五十年あはれのかゝる花の江戸としし
ころ年毎に行ひ來つる大都の風俗を
以て伝ふる事をもつて傳ふる事ありたり
吾士と齡はや五十をこつてあまの國をこ



田中



これぞ此画の心骨を國の志の口はなせんと
歳の且より大脚のまごの何れも打込め
るの多れが常の事なりはなぬれずありしが
をいぬるまゝの昔のたのしみはなぬれずありしが
まゝの昔のたのしみはなぬれずありしが
ありしが

明治癸巳暮に 如庵居士



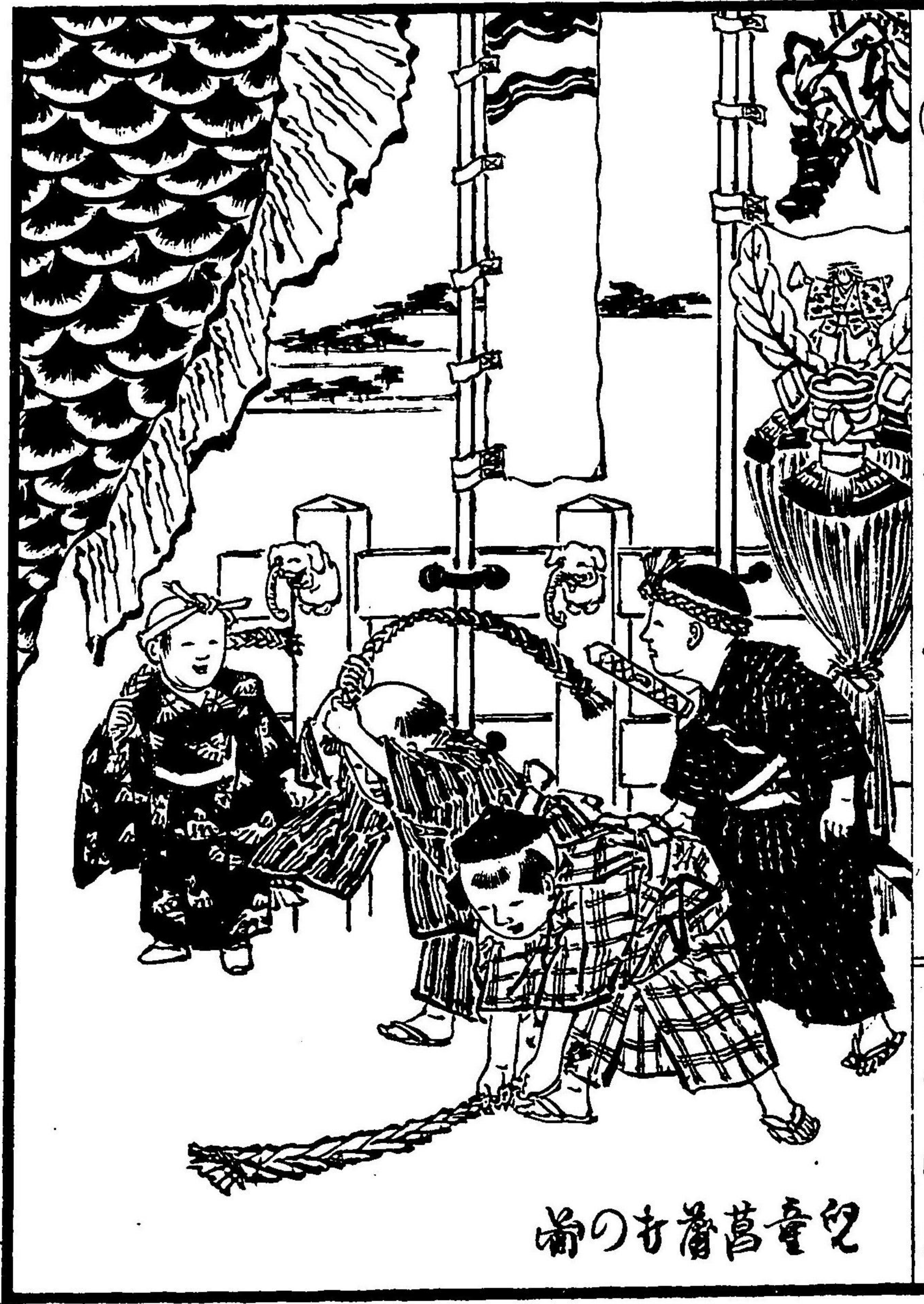
U. 6406



外儀を
よびの
目

外儀をよびの目

外儀をよびの目



外儀をよびの目

外儀をよびの目

外儀をよびの目

梵天



坂田

坂田

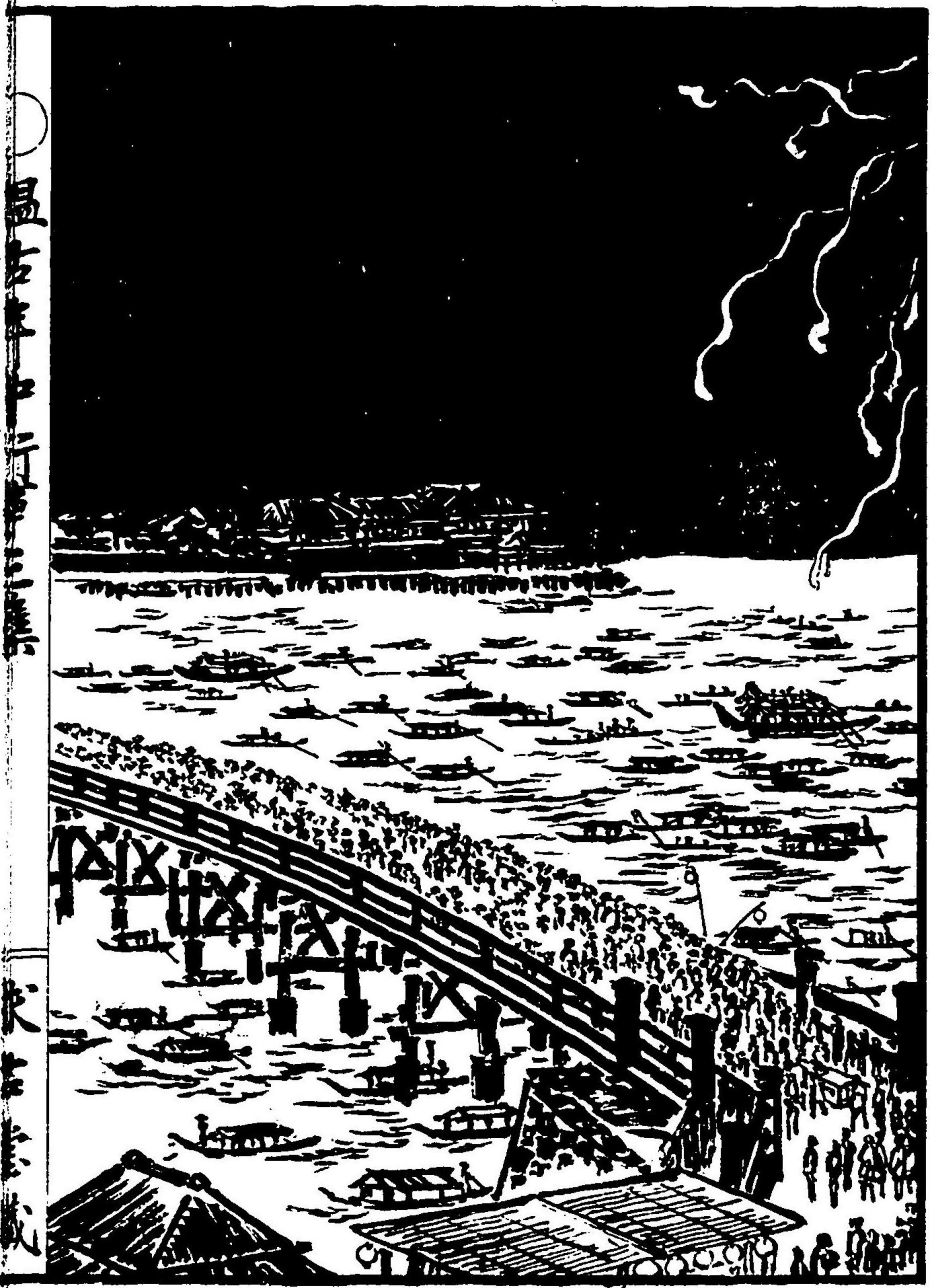
坂田

内職



内職

内職



河津川舟船の賑わい

舟船の賑わい



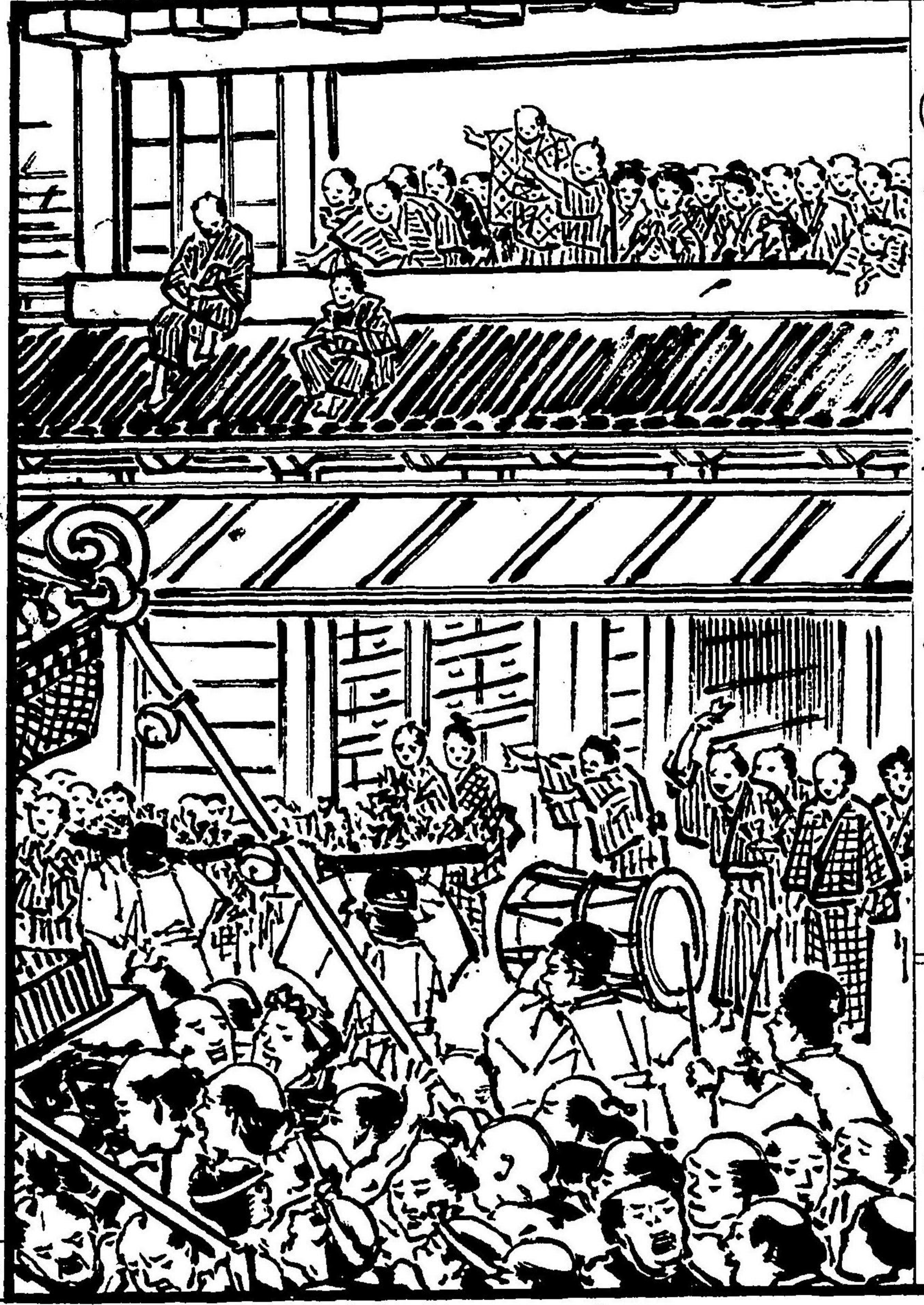
河津川舟船

河津川舟船の賑わい

舟船の賑わい



同神樂
正華之圖





江戸の御祭

御祭の御祭



其二

江戸の御祭

御祭の御祭

七



6406

水馬気水凍



金魚賣

鮮魚

九

山王祭
舟車
人形を
引出す
目



山王祭の舟車
人形を
引出す
目

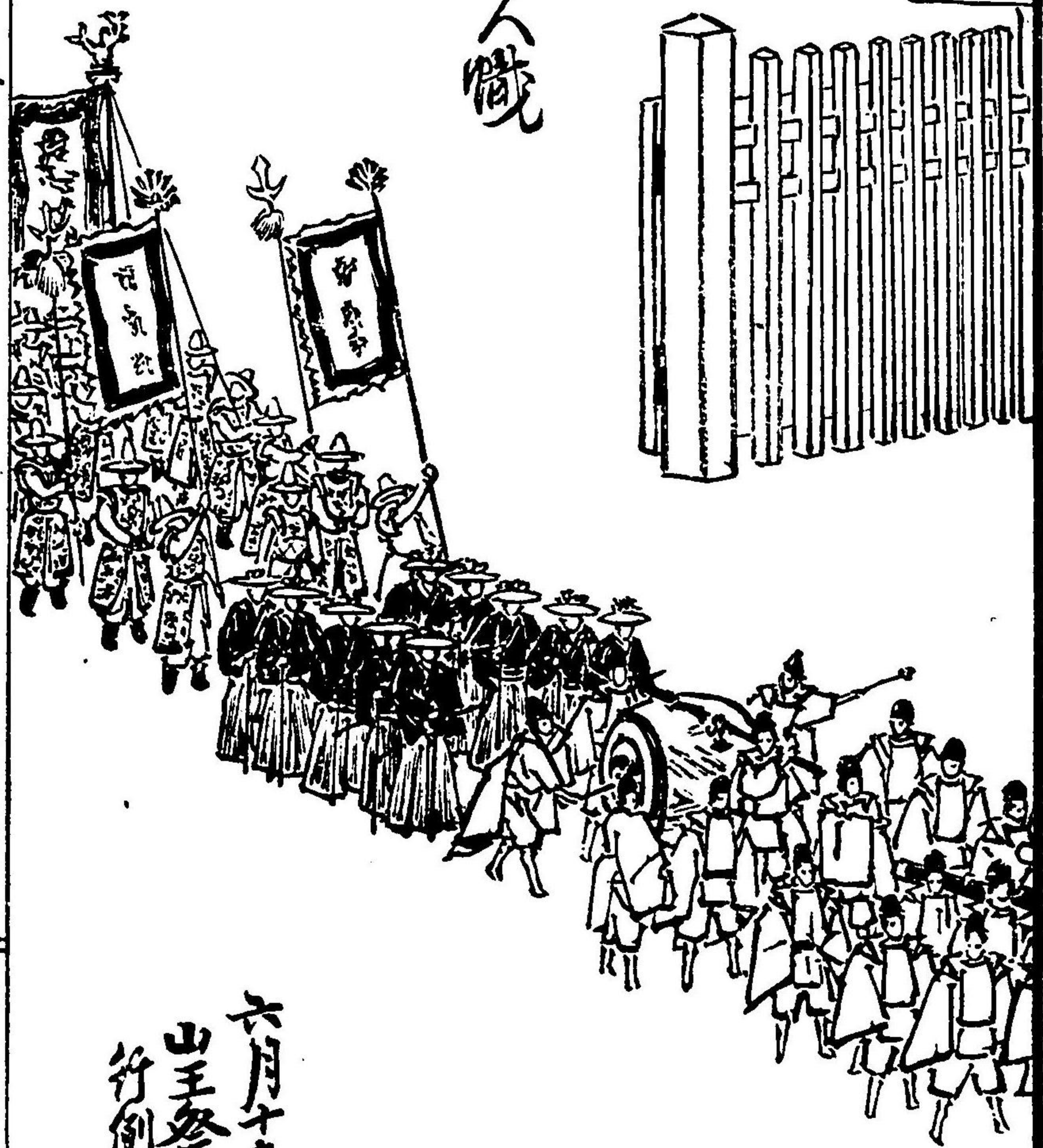
山王祭の舟車

山王祭の舟車

水馬気水凍

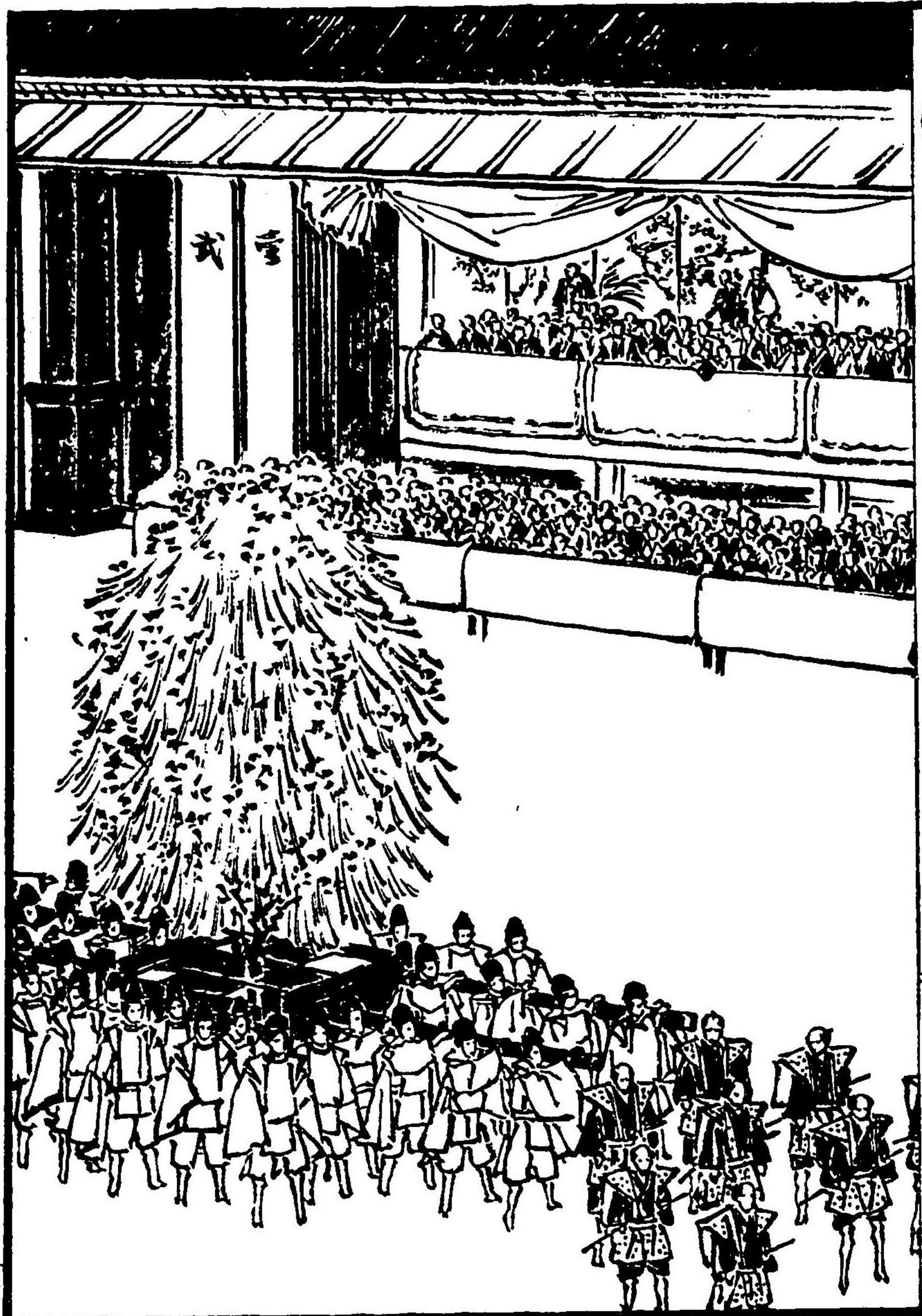
水馬気水凍

唐人職



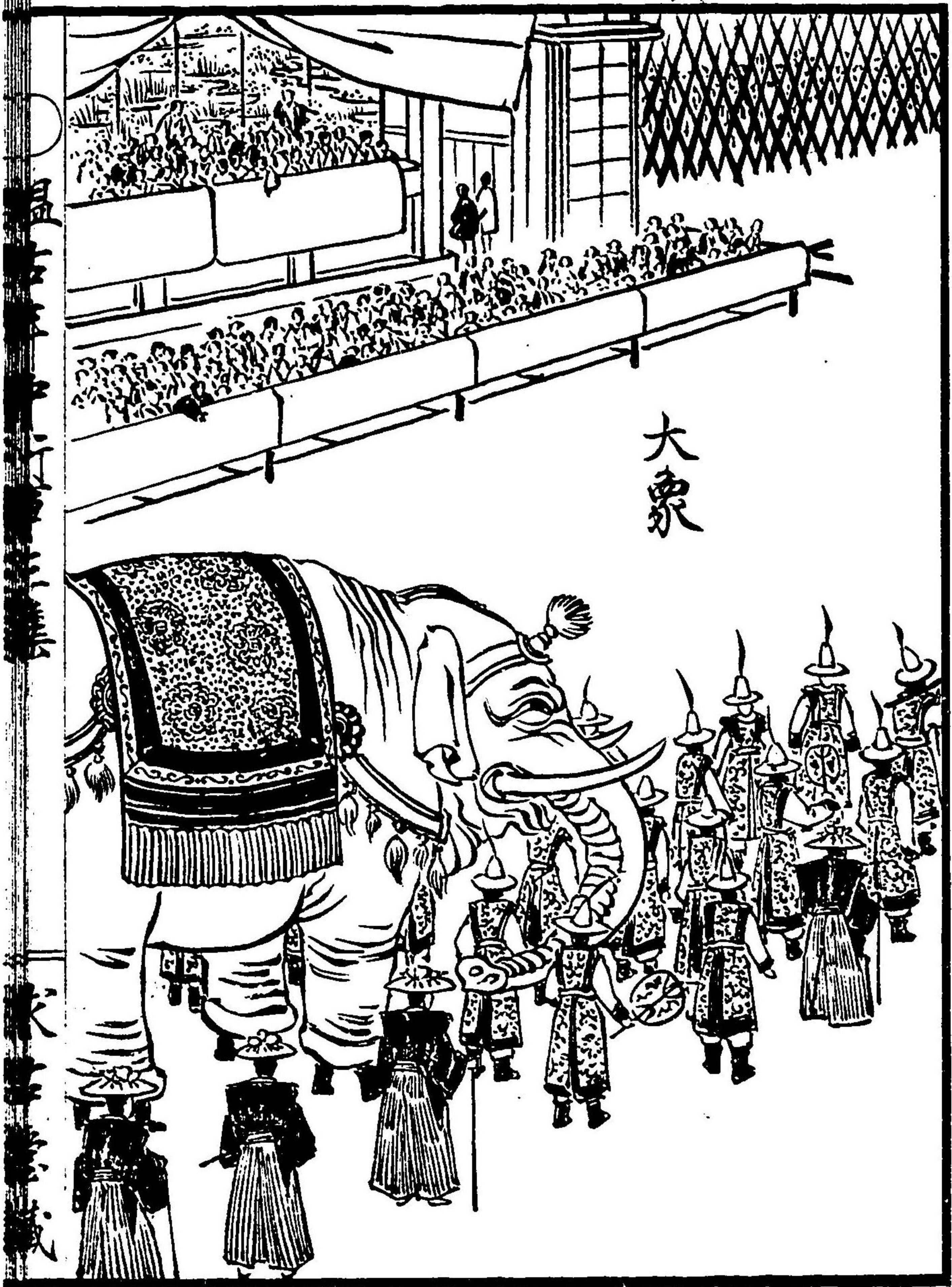
六月十五日
山王祭
行例の
番

大正十一年六月十五日



十

大正十一年六月十五日



大象



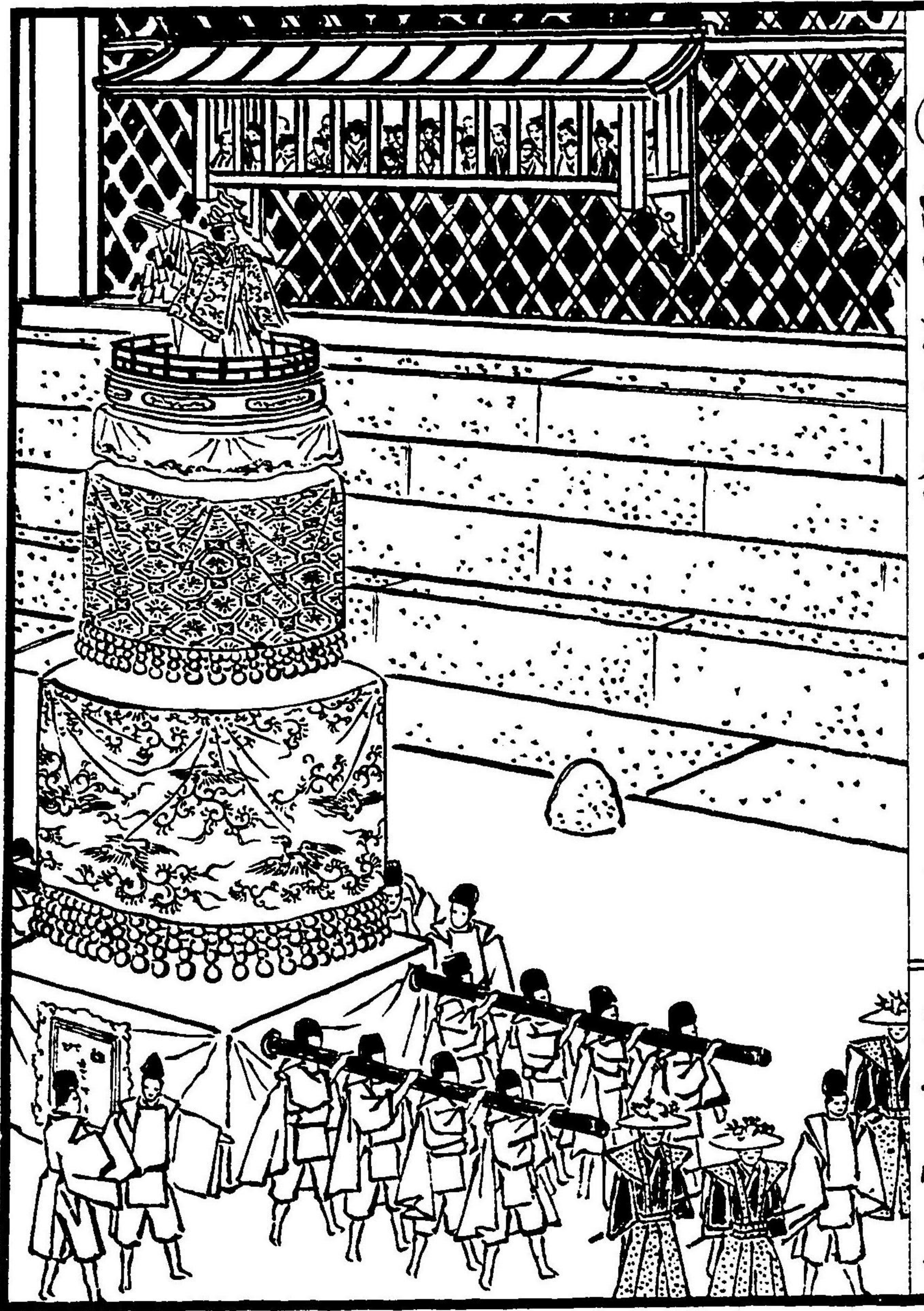
其二

其
 一
 已
 了
 其
 禮

士

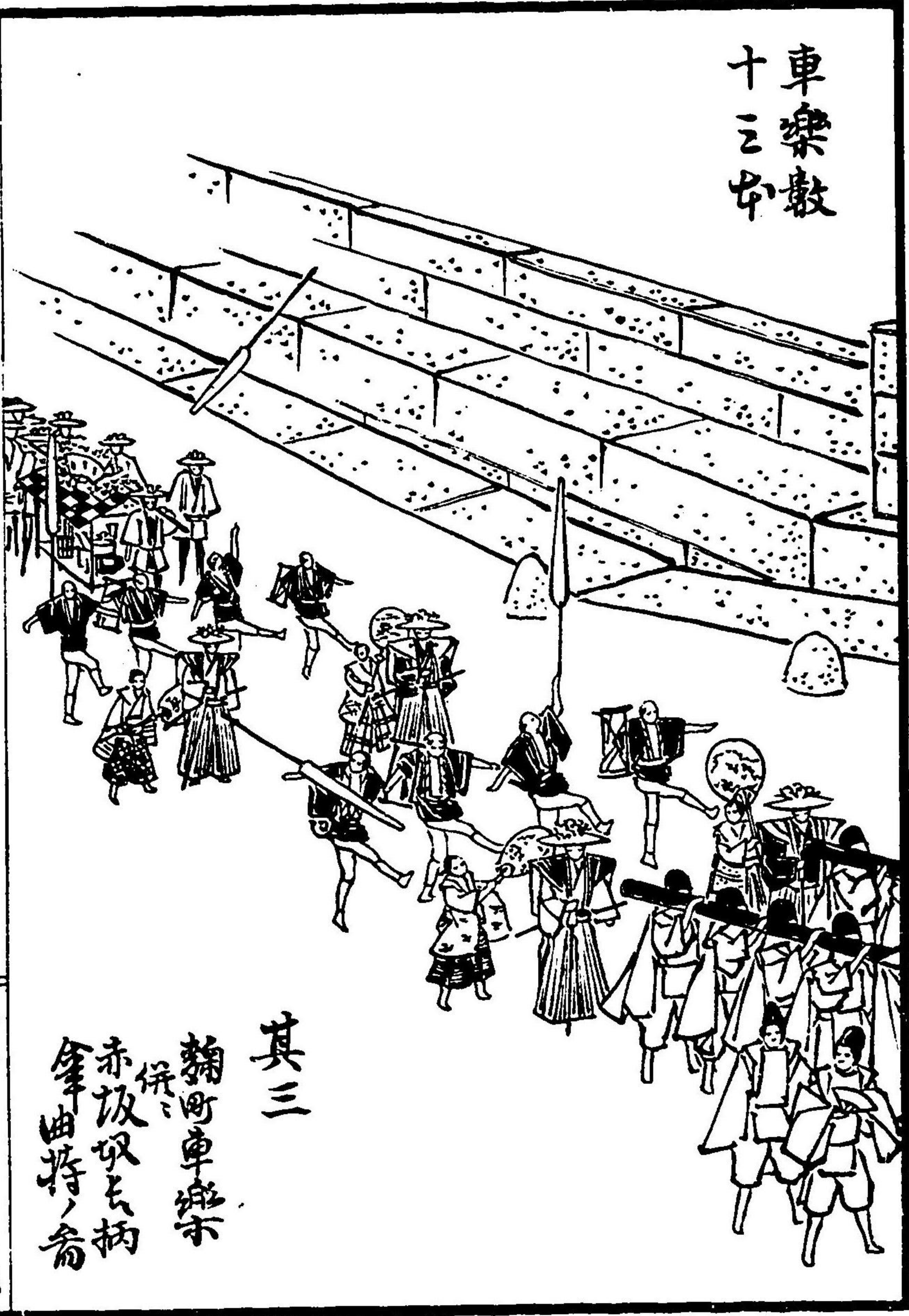
海內外中華書局

海內外中華書局



十二

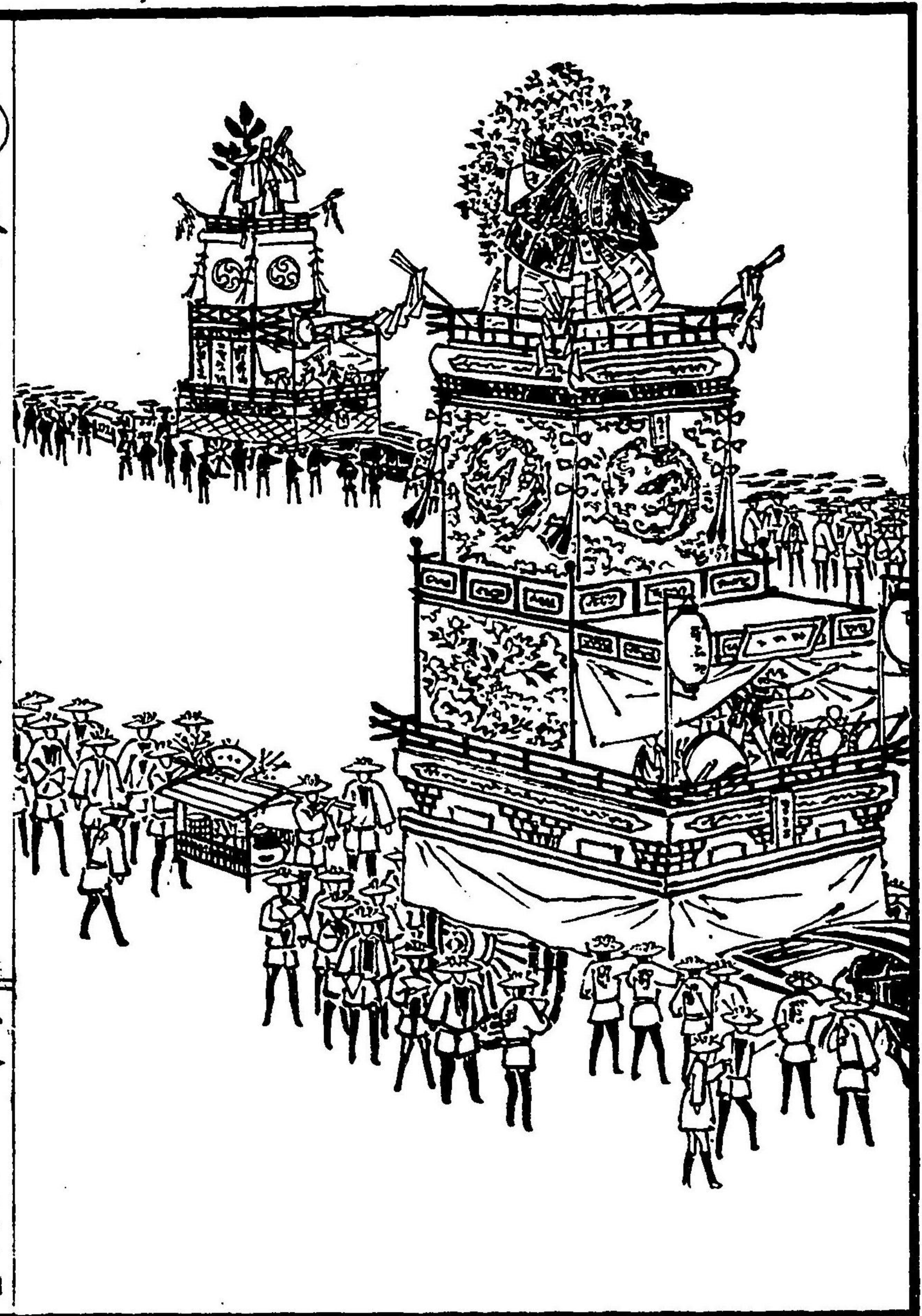
車樂敷
十二

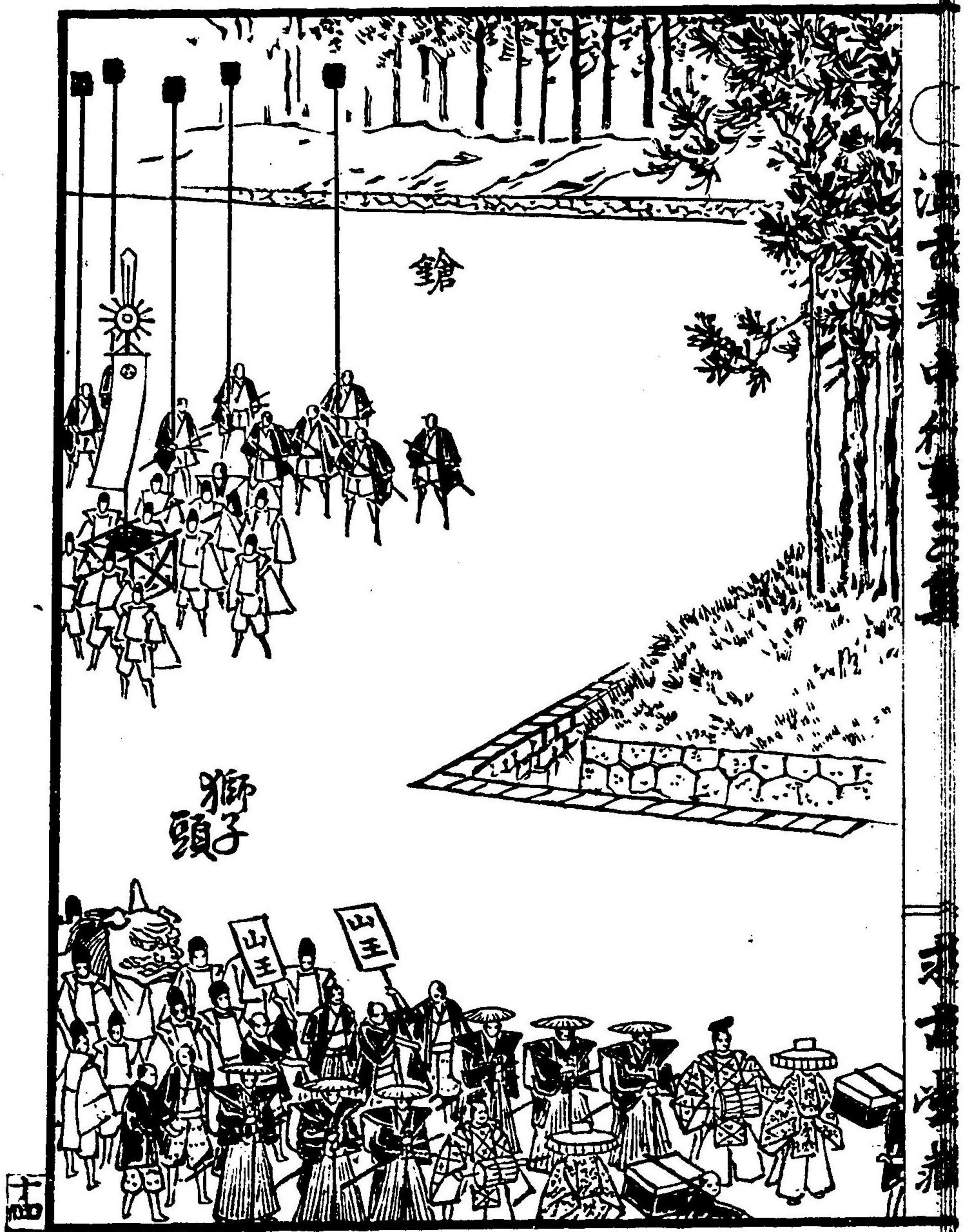
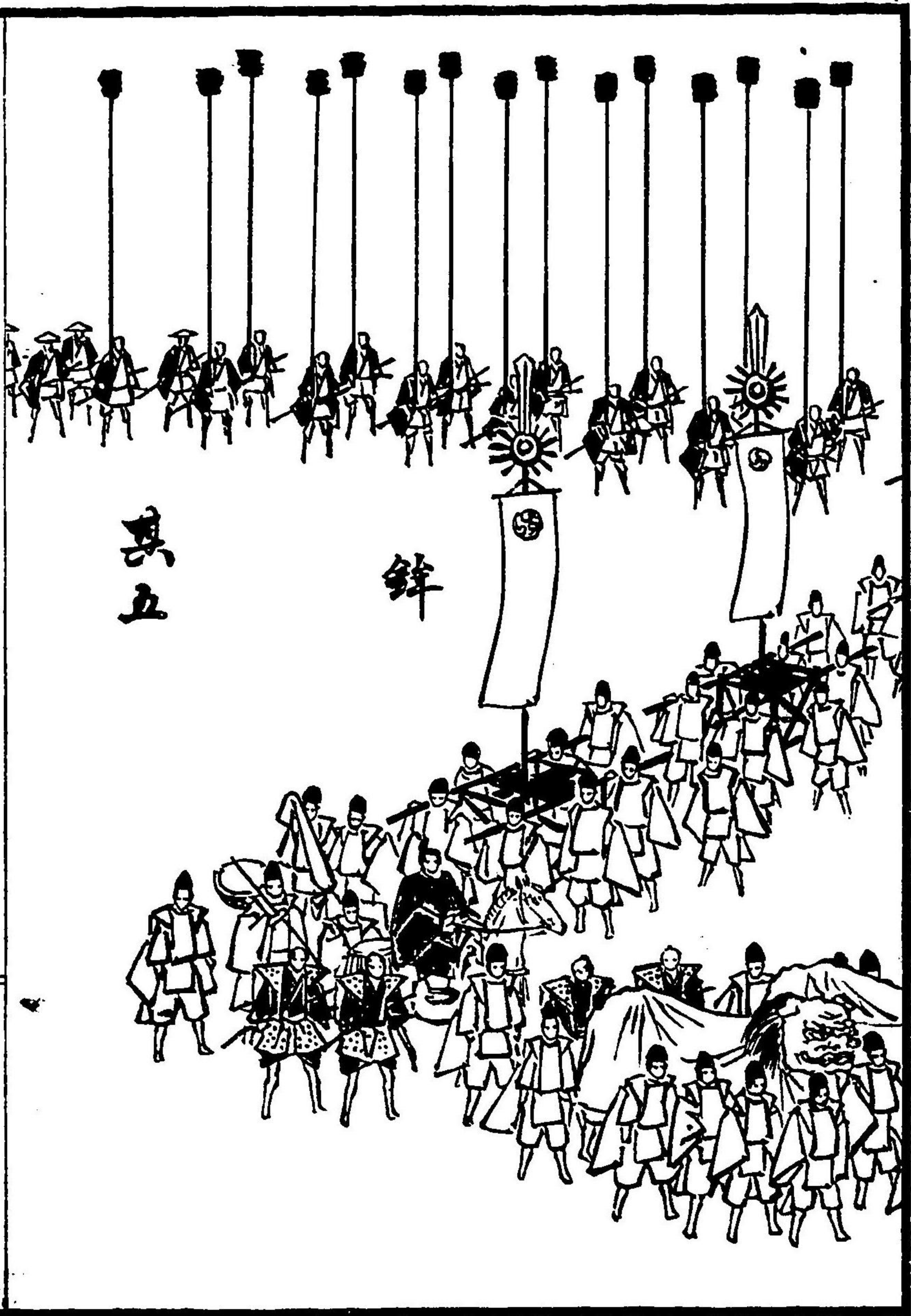


其三

鞠河車遊赤坂
併取長柄
傘曲持ノ翁

其四
花車散
四十八年





其六

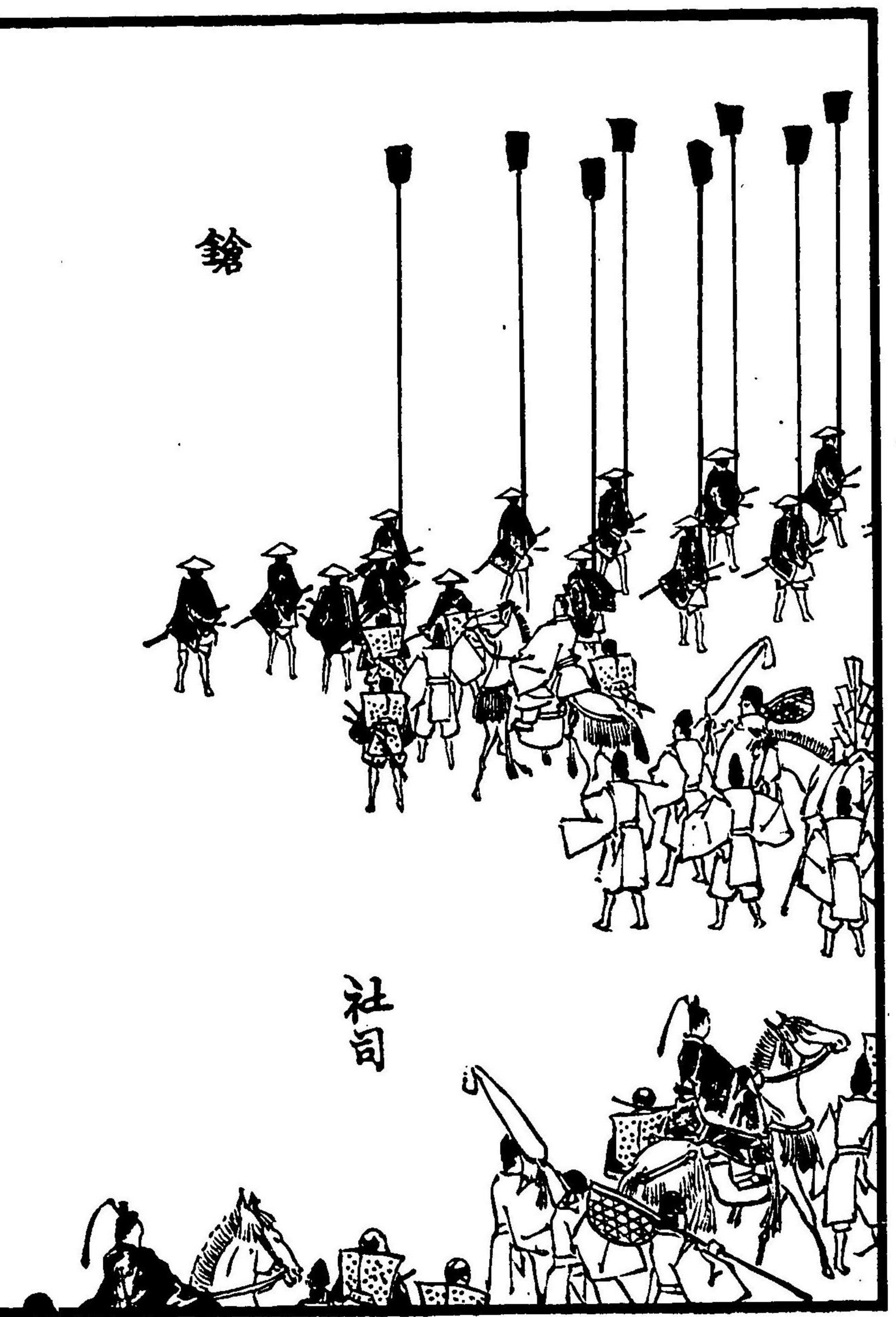
相馬家大帳



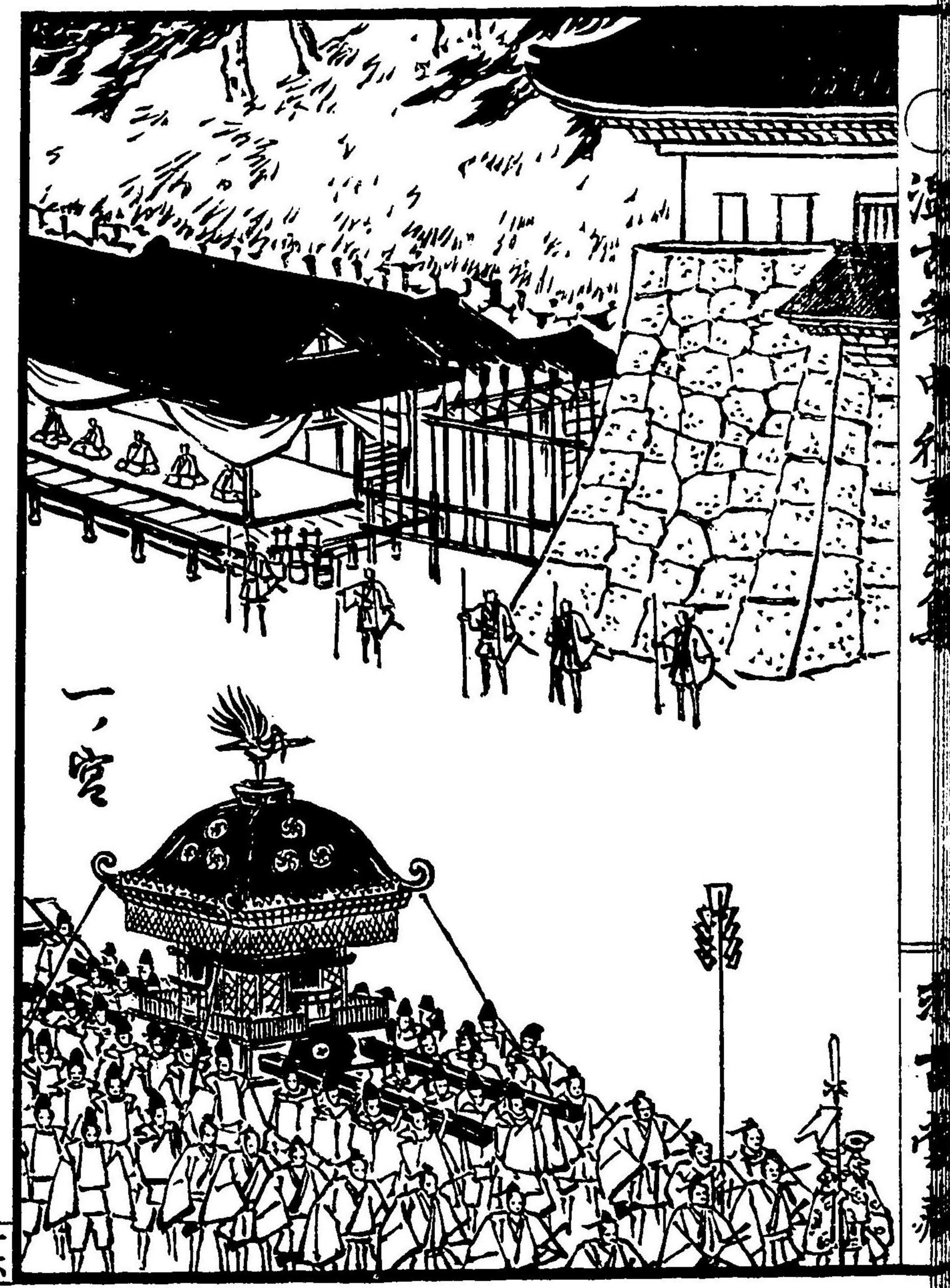
神馬

十五

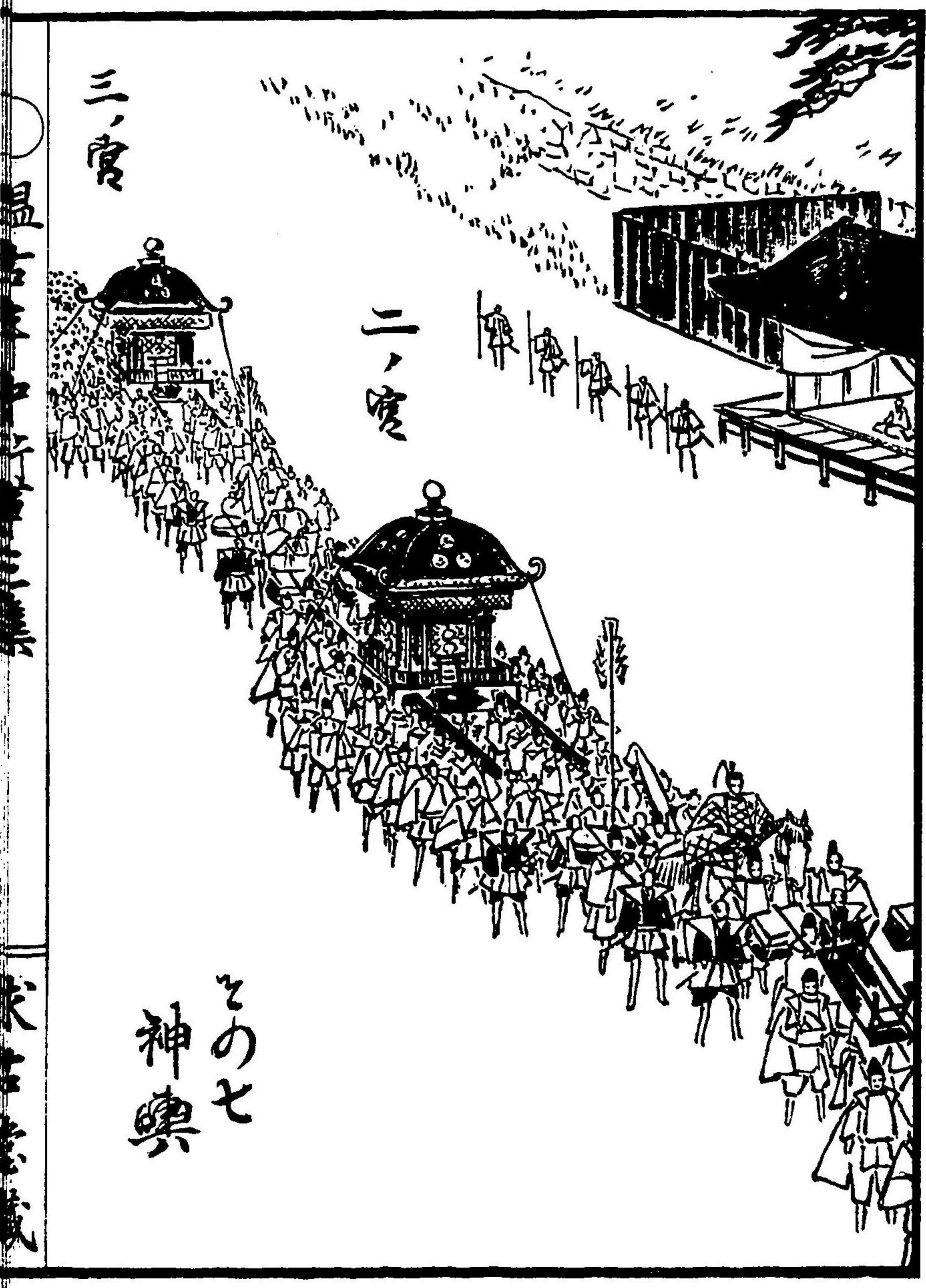
鎗



社司



一ノ宮

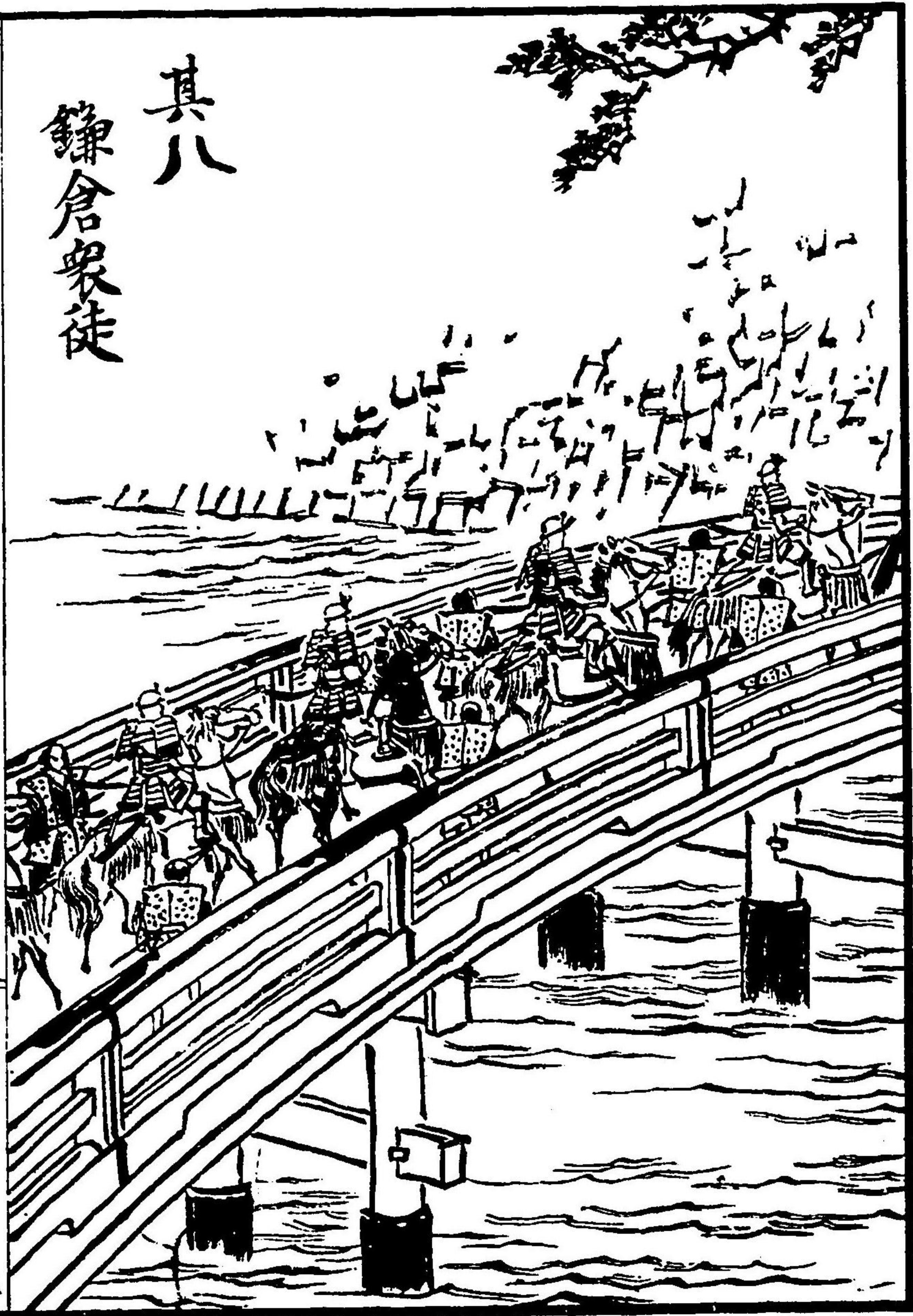


三ノ宮

二ノ宮

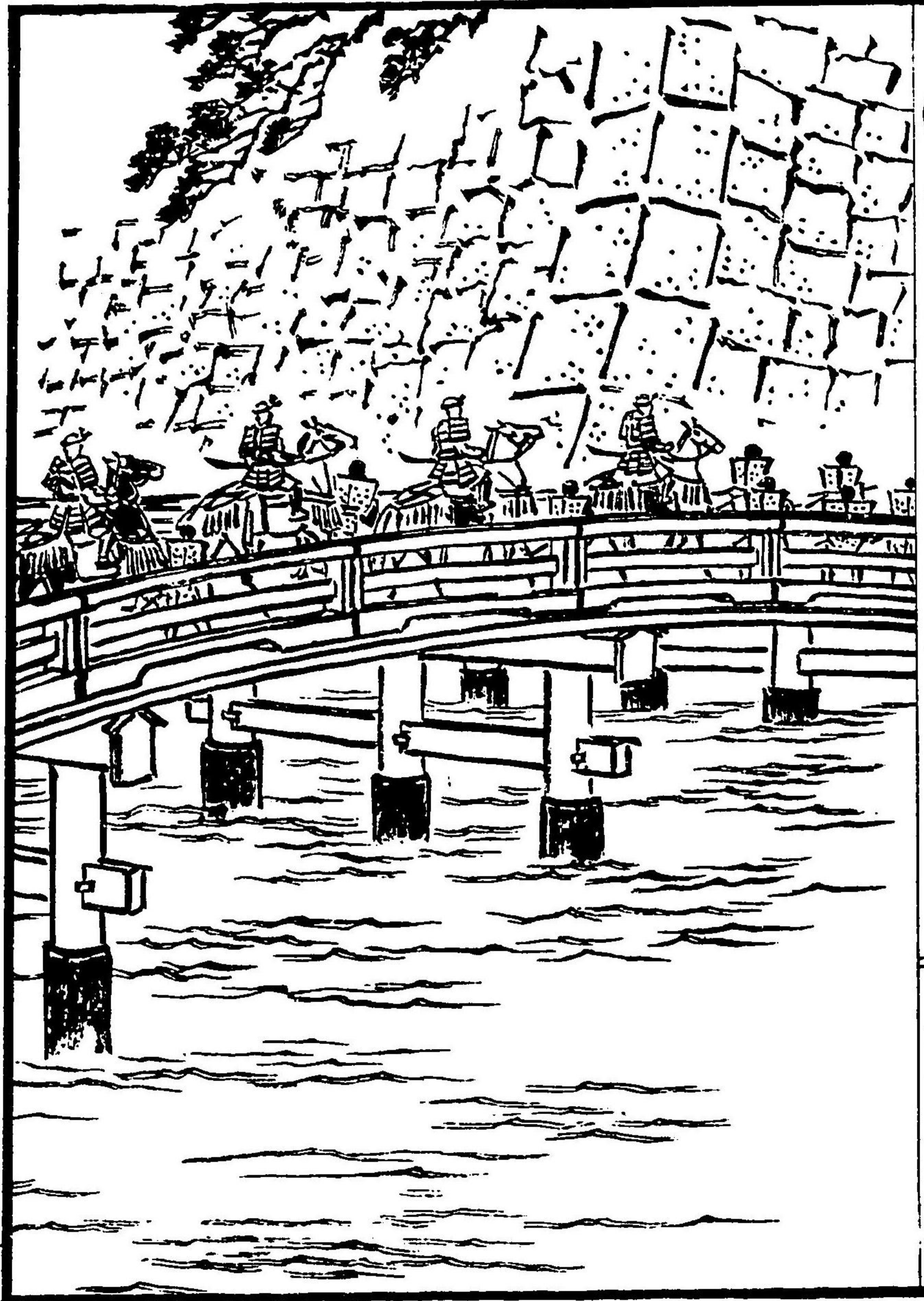
その七
神樂

其八
鎌倉衆徒



鎌倉衆徒

其八



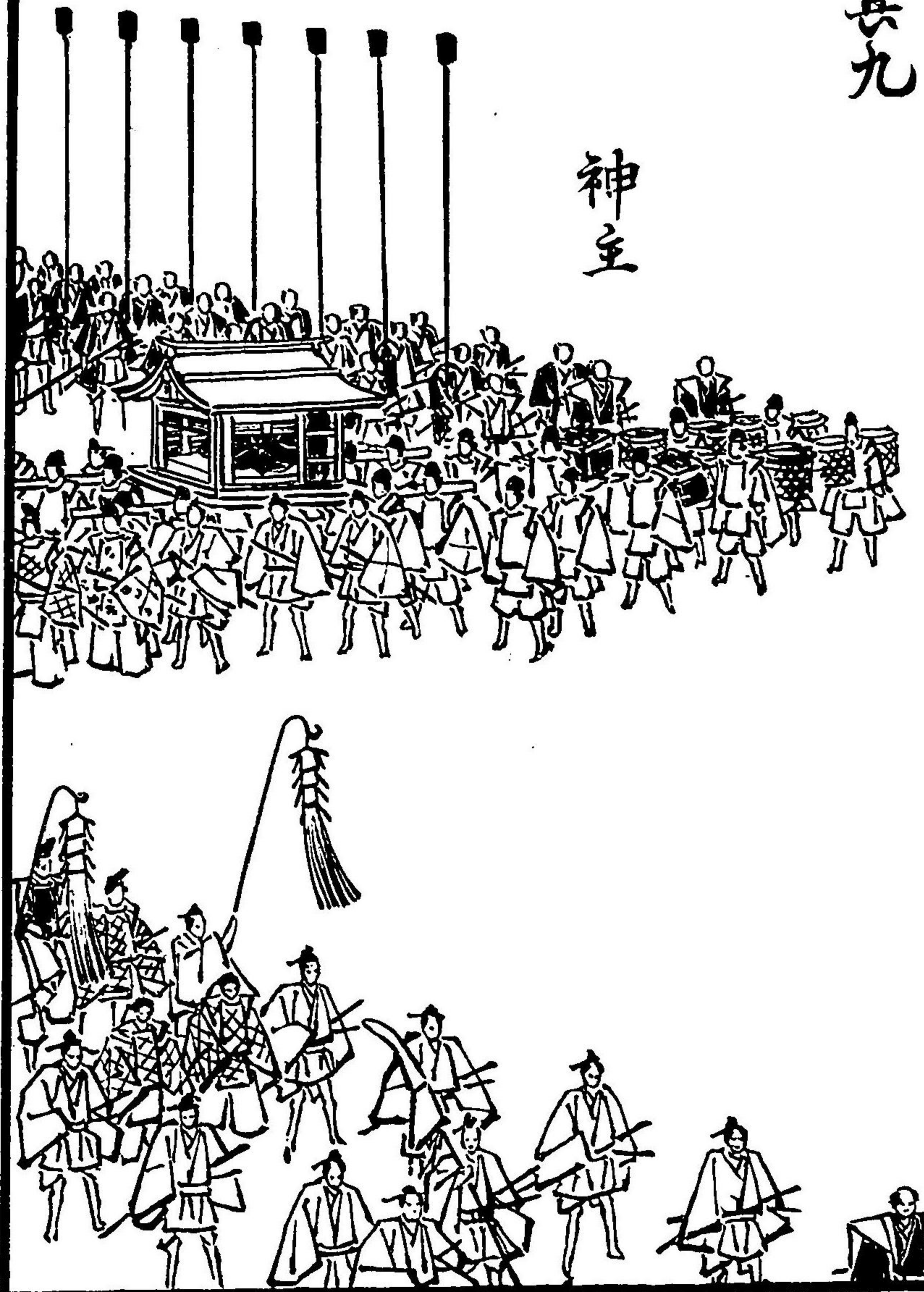
鎌倉衆徒

其八

十七

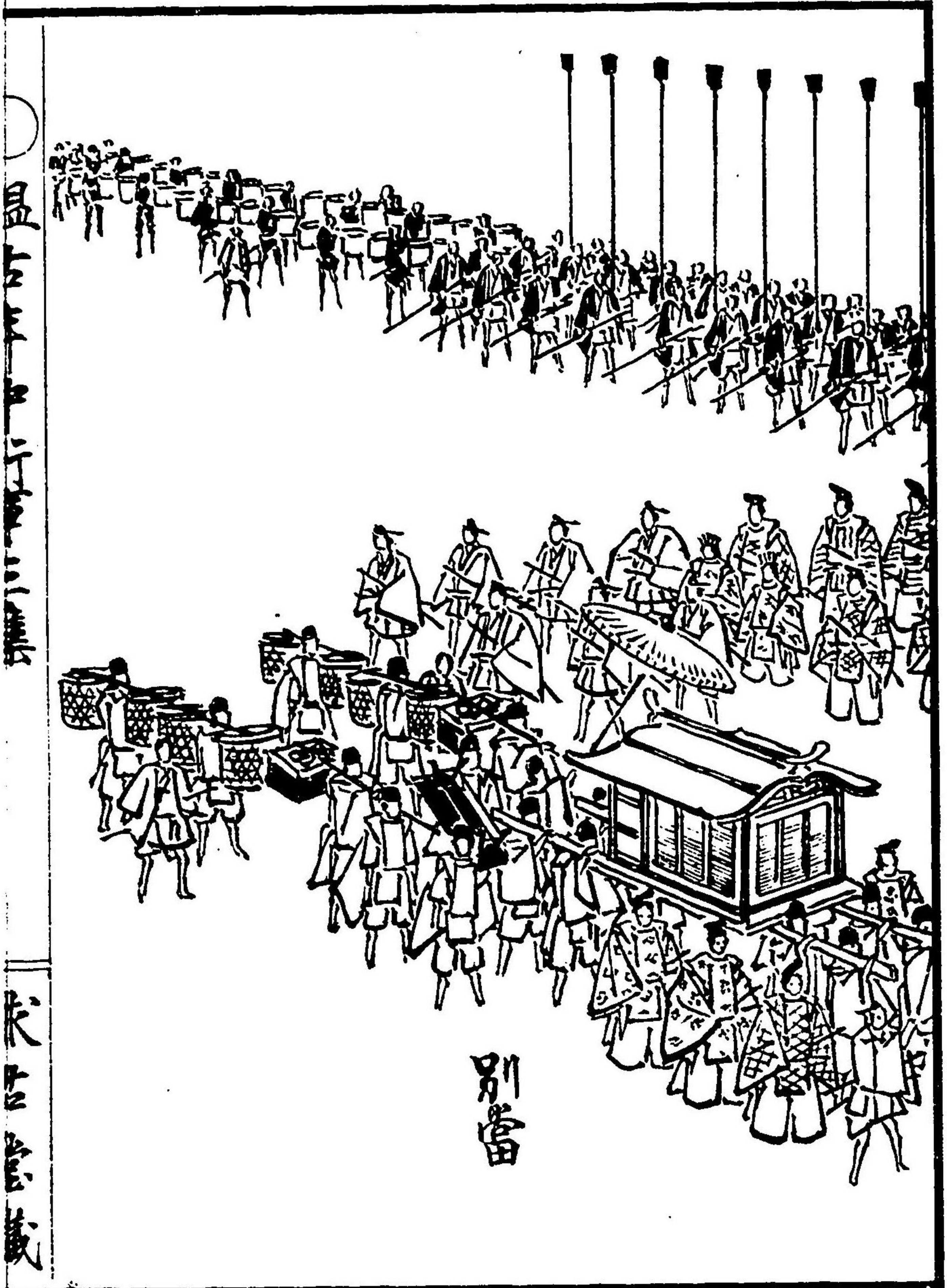
其九

神主



神主

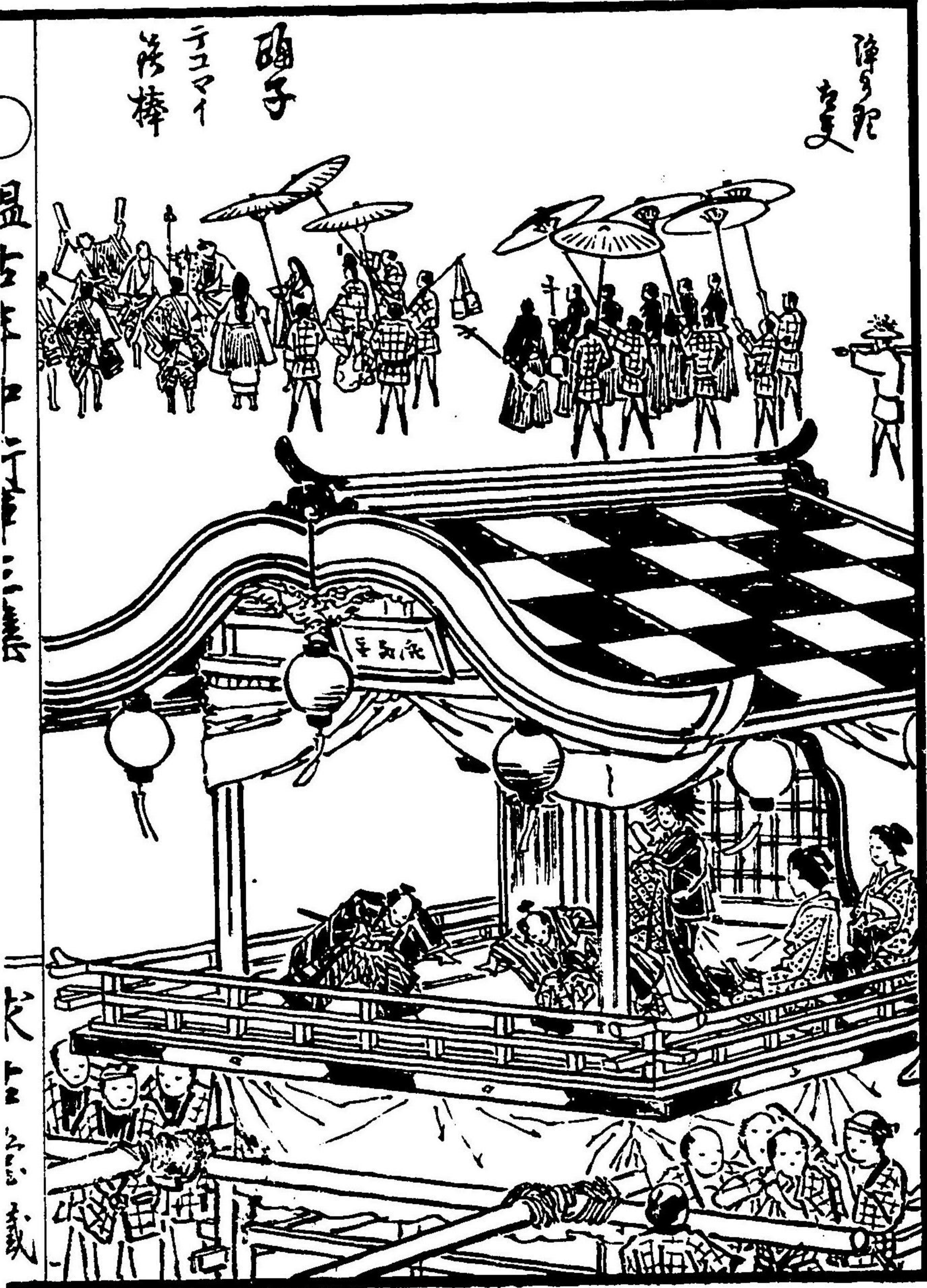
十六



別當

神主

別當



踊子
 三ツマイ
 後棒

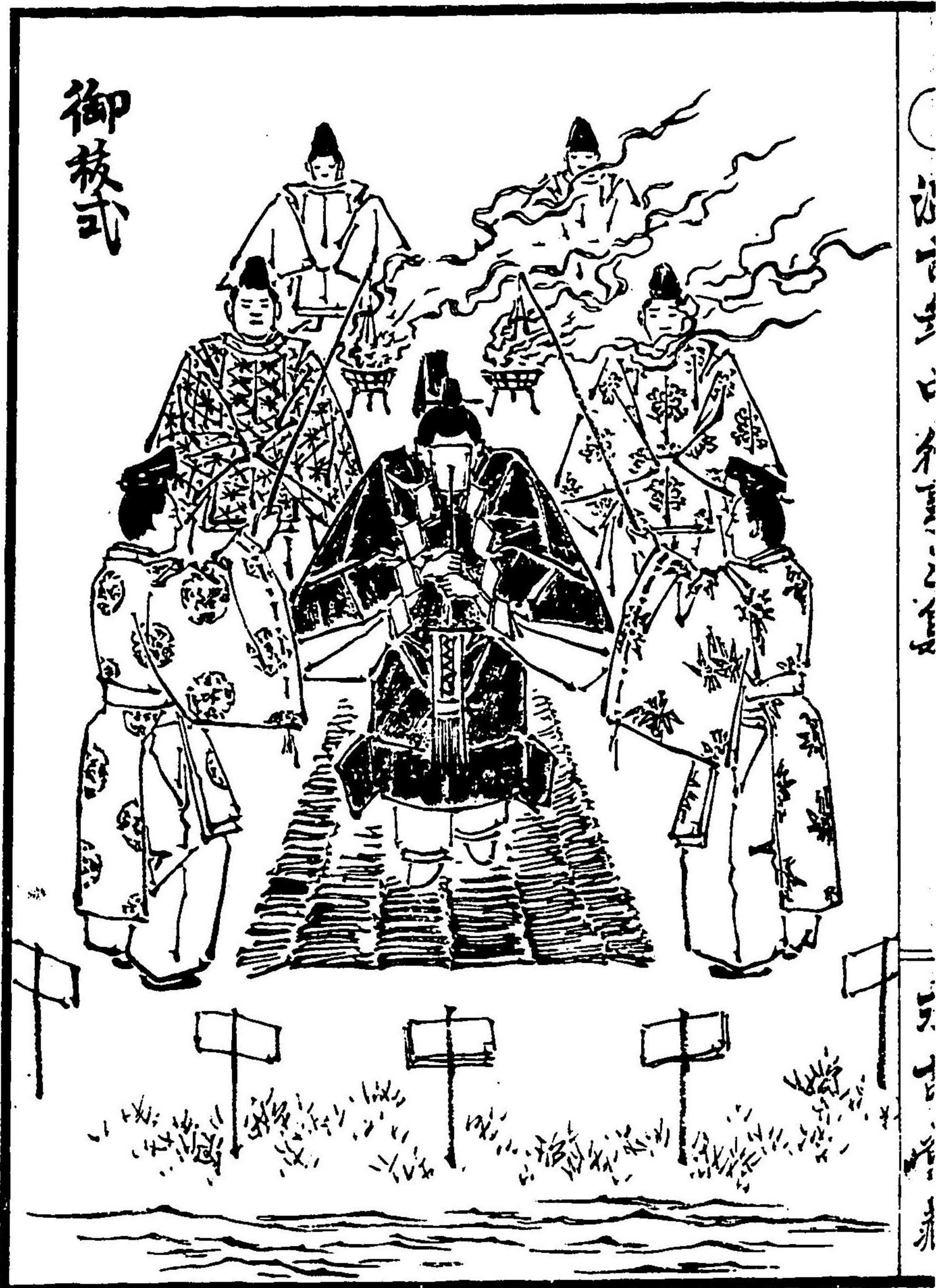
陣多
 舞



踊子
 地踊

十九

385
/
3止



御枝式

三十一

温古年中行事	三冊出版 追近刻	潜龍堂画譜	全五冊
花鳥漫畫	初編出版 追近刻	萬象寫生雛形	全二冊
永濯漫畫	全二冊	唐草模様雛形	全一冊
暁齋醉畫	全三冊	求古圖錄	彩箋一冊
諸職畫譜	全三冊	古代模様集	全三冊
画本早まろび	全三冊	いろは引紋帳	全一冊
花鳥畫譜	全一冊	近世名家書画談	全八冊

明治廿八年三月十日印刷同年三月十七日發行

東京市淺草區須賀町十九番地

發行者

松崎半造

印刷者

同本行區表町二十五番地
大塚鐵五郎



